

令和 7 年 2 月 秋 田 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問 者 順 序

フロンティア秋田 藤 田 信

自 民 党 伊 藤 巧 一

秋 水 会 伊 藤 一 榮

そ う せ い と 維 新 菊 地 格 夫

公 明 党 牧 野 守

1 人口減少に関する市長の政治姿勢について

- (1) 穂積市政 4 期16年の人口減少対策について、今後に残された課題は何か
- (2) 地方創生2.0について、国に考え方を改めてもらうべき点はないか
- (3) 中央集権体制を改め、地方が自らの創意工夫と責任で地方創生に取り組めるよう、憲法の地方自治に関する規定を改正すべきとの考えはないか
- (4) 最低賃金の地域間格差を解消すべきとの考えはないか
- (5) 予算編成方針に、本市経済の課題及びビジョン並びに新たな施策の方向性を記載すべきではないか
- (6) 公民連携による「秋田市人口問題研究会（仮称）」を設立する考えはないとのことであったが、現状の体制で効果的な人口減少対策が可能と考える根拠は何か

2 少子化対策について

- (1) 令和 6 年 2 月定例会において実施するとの答弁があった、若者を対象とした結婚・出産に関する調査の結果を受け、未婚化や晩婚化を解消し有配偶率を高めるための出会い・交際・結婚に関する課題をどのように解決すべきと考えているのか
- (2) 完結出生児数を増やすため、国に提案すべき効果的な取組はないか

3 社会減対策について

- (1) 本市独自の調査により、転出入の移動理由を詳細に把握・分析して政策立案に生かすべきではないか
- (2) 若者・女性の視点を生かす社会減対策について
 - ア 次代を担う若い世代の声をこれまで以上にすくい上げることであるが、具体的にどのような取組を行うのか
 - イ 人口流出の抑制ではなく、スキルや能力を高め成長した若者・女

性がいつでも本市に戻って挑戦できるよう、これまで本市に戻ってきた若者・女性に対するヒアリング調査を丁寧に行い、若者・女性が望む多様な生き方を実現できる環境を整えるべきではないか

ウ 若者の力を生かした魅力的な地域づくりや未来の地域づくり人材の育成を行うため、総務省の「ふるさとミライカレッジ」モデル実証事業に応募してはどうか

(3) 移住・二地域居住の促進による社会減対策について

ア 大都市圏で働く人が暮らしやすく働きやすい環境を秋田空港周辺に整備し、二地域居住を促進する考えはないか

イ 高齢者が本市の豊かな自然を満喫しながら人生を楽しめる住宅等を中山間地域に整備し、移住を促進する考えはないか

ウ 外国人富裕層が暮らしやすい環境を国際教養大学周辺に整備し、移住を促進する考えはないか

4 人口減少下における本市経済の成長について

(1) 起業の促進と生産性向上について

ア 全国でのフランチャイズ展開を視野に入れたAターン起業を促し支援する取組はできないか

イ 市内の技能実習生や留学生に対し、本市や母国での起業を促し支援する取組はできないか

ウ 生産性向上のため、市内企業の規模拡大や新規事業開発を促す取組を強化すべきではないか

(2) インバウンド観光の推進について

ア 本市の観光資源を磨き上げ、付加価値の高い観光サービスをつくり上げた上で、セグメンテーションとターゲティングにより、外国人富裕層を対象としたアンダーツーリズムに力を入れていくべきではないか、また、外国人富裕層に人気の高い海外資本の高級ホテルを誘致するとともに、体験プログラムを充実させて滞在型観光を推進すべきではないか

イ 観光支出額の大きい欧州や、本市とのつながりが深い友好・姉妹

都市をターゲットとして、観光誘客に力を入れていく考えはないか
ウ 技能実習生や留学生の外国人の視点を生かし、観光サービスを充実させる取組をすべきではないか

エ 居心地がよく、歩きたくなる「ウォーカブルなまちづくり」において、本市らしさを感じられる町並みやベンチの整備が必要ではないか、また、本市の公共交通は外国人観光客が利用しやすいものとなっているのか

オ 本市へのアクセスを向上させることにより、観光客の増加だけではなく、国内各地のオーバーツーリズムの解消にもつながることから、国に交通ネットワークのさらなる充実を要望する考えはないか

5 人口減少下における行政運営について

- (1) 三大都市圏の企業に勤務する社員の専門的なノウハウや知見を市の業務に生かすため、総務省の地域活性化起業人制度を活用する考えはないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 事業パートナーであるイオンタウン株式会社とは良好な関係を保っているのか

イ 令和7年度における同地区まちづくり事業推進経費の詳細はどうか、また、今後のスケジュールはどうか

ウ 同地区のまちづくり事業について、当初は、前市長が計画したものと認識しているが、本事業が現在まで進展しない理由をどう捉えているのか

エ 卸売市場について、全面建て替えによる再整備の必要性をどう考えているのか、また、市場内事業者から経営統合を検討しているとの話は出ているのか

オ 卸売市場の再整備により生じる余剰地に、災害備蓄品の保管拠点やヘリポートを整備してはどうか

(2) 新スタジアムについて

ア 収容人数について、覚悟を決めて1万人以上と決断してはどうか

イ 整備の財源をどのように確保していくのか

2 水災害対策プロジェクトについて

(1) 同プロジェクトに掲げた対策を実施することにより、大雨による浸水被害はどの程度解消されるのか

(2) 秋田駅西地区における雨水幹線整備の事業目的、規模等の詳細はどうか、また、現在の進捗状況と今後のスケジュールはどうか

(3) 秋田大学医学部附属病院周辺における雨水貯留浸透施設等整備の事業目的、規模等の詳細はどうか、また、現在の進捗状況と今後のスケジュールはどうか

3 消防について

(1) 消防団員等の確保について

- ア 消防団員の年額報酬や出動報酬の引上げなど、処遇改善にどう取り組んでいくのか
- イ 消防団員の家族や職場の理解を得るため、本市として、どのように対応しているのか
- ウ 消防団員の確保のため、松山市の「まつやま・だん団プロジェクト」のような本市全体で消防団員を応援する取組を実施してはどうか
- エ 消防職員及び消防団員の確保に向けた取組の一環として、秋田市内の各大学に消防団組織の設立を働きかけてはどうか、また、余剰となっている小型動力ポンプを市内の各大学に配備し、大学生に対して消防操法大会への参加を呼びかけてはどうか

(2) 常備消防について

- ア 常備消防の装備品等は、十分に整備されているのか
- イ 近年の予算において、装備品等の充実に必要な予算は確保されていたと考えているのか

4 ごみ処理広域化の検討について

- (1) ごみ処理広域化方針策定に向けた検討項目について、本市以外の6市町村の考え方はどうなっているのか
- (2) 新たなごみ焼却施設の維持管理に係る費用分担はどうなるのか
- (3) プラスチックごみの分別収集に係るメリット・デメリットは何か

5 市町合併後の20年と過疎地域の今後について

(1) 秋田市・河辺町・雄和町合併後の取組等について

- ア 合併から20年が経過したが、これまでの取組における成果と課題について、どのように捉えているのか、また、河辺地域及び雄和地域における住民サービスについて、合併前と比較し、どう評価しているのか
- イ 今後、近隣自治体との令和の合併はあり得るのか

(2) 過疎地域の活性化について

ア 過疎地域における空き家や農地等の有効活用を促進するため、本市独自の特区計画を検討してはどうか

イ 過疎地域を「（仮称）美の国・ドリームシティ」などと名づけ、全国の若者たちからアイデアを募集し、地域活性化の起爆剤となる取組を実施してはどうか

6 投票率の向上に向けた取組について

(1) 期日前投票を行った市民から希望があった場合、投票済証を発行してはどうか

(2) 直近10年間の投票率について、どう評価しているのか

(3) 投票率の向上に向けた取組をどのように行ってきたのか、また、今後の取組について、どう考えているのか

1 令和7年度当初予算案について

- (1) 本予算案は、市長選を控え骨格予算となっているにもかかわらず、一般会計予算が前年度比で44億円、率にして3.1%の増となった理由は何か、また、予算編成に当たって特に重視した点は何か
- (2) 今後、補正予算として肉づけが想定される施策及びその理由は何か

2 人口減少及び少子化対策について

- (1) 第14次秋田市総合計画の巻頭言において、「5年後の私たちは、どのように「今」を振り返り、語り合うのでしょうか」とあるが、穂積市政4期目の「今」をどのように振り返り、語り合うのか、また、「若者にとって魅力のあるまちづくり」はできたと考えているのか
- (2) 第14次秋田市総合計画の成果と課題をどのように検証し、来年度策定する予定の次期総合計画にどう生かしていくのか
- (3) 近年の若者の県外への転出状況と推移をどのように認識しているのか、また、高校・大学の新規卒業者の地元就職をどのように促進していくのか
- (4) 若者や女性が就職を希望する魅力ある雇用の場を創設するため、令和7年度は新規事業を含め、具体的にどのように取り組んでいくのか
- (5) 若い世代の給与水準を引き上げるための方策を長期思考で重層的に実施すべきと考えるが、その足がかりとして、最低賃金の引上げを県と連携して進めるべきではないか
- (6) 秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅴにおいて、少子化の要因として影響が大きいとされている課題の解決に向け、これまで以上に大胆な施策が求められるが、市として具体的にどのように取り組んでいくのか
- (7) 合計特殊出生率が年々低下している現状をどう認識しているのか、また、合計特殊出生率を高める施策をどのように推進していくのか
- (8) 移住定住の促進、関係人口の創出・拡大について、現状をどのよう

に捉えているのか、また、今後さらなる促進等を図るための方策はあるのか

- (9) 若者の流出防止、人材確保及び定着を図るため、県の「あきた企業連携型奨学金返還助成制度」のように、本市の奨学金返還助成制度も対象業種を拡大し、県の制度と併用できるようにすべきではないか、また、県の制度に登録する市内企業が増えることで、市内企業への就職者の増加が見込まれることから、本市でも同制度の周知に努めるべきではないか

3 中心市街地活性化について

- (1) 市民アンケートや商店主アンケートの結果についてどう捉えているのか、また、アンケート結果を受け、寄せられた市民ニーズに対し今後どのような取組をしていくのか
- (2) 中心市街地の回遊性や大規模な低未利用地、空き店舗などの課題を解決するための方策はあるのか
- (3) これまでの中心市街地のにぎわい創出に係る事業の費用対効果をどのように検証しているのか、また、今後どのような展開を考えているのか

4 卸売市場の再整備について

- (1) 再整備手法の見直しに着手するとの判断に至った理由は何か、また、今後どのように見直しを進めていくのか
- (2) 再整備後に市場内事業者が負担する市場使用料の縮減に向けて、どのように取り組んでいくのか
- (3) 人口減少等に伴い、今後も取扱量の減少が見込まれる中、秋田市公設地方卸売市場の将来展望をどのように描いているのか

5 新スタジアムの整備について

- (1) 新スタジアム整備に係るこれまでの経緯に市民は困惑しており、市民の理解を得るためには、これまで以上に分かりやすく丁寧に説明す

る必要があると思うがどうか

(2) これまでの県及びブラウブリッツ秋田との三者協議を踏まえつつ、一つ一つの検討課題の解決に向け、本市が主体性を強く持ち、今後の協議を主導していくべきではないか

(3) 新スタジアムを八橋運動公園内に整備することで生じる施設配置の変更による代替地の整備方針について、早期に詳細を明らかにすべきではないか

6 外旭川地区まちづくりについて

(1) 議会に対し、本市が考えている外旭川地区まちづくり基本計画の見直し内容を早期に明らかにすべきではないか、また、想定される課題等にどう対応し、いつまでにまとめ上げるつもりなのか

(2) この一年間、事業パートナーとは、どの程度の頻度で協議を重ね、どのような内容について話し合われてきたのか、また、本市が主体性を持って強力に事業パートナーとの協議を進めていくべきではないか、さらに、今後の事業遂行に向けた展望についてどのように考えているのか

(3) 事業パートナーは現状をどのように捉えていると考えているのか

(4) 地域未来投資促進法第4条に基づく基本計画について、今後県との協議を進めていく上での課題とその対応についてどのように考えているのか、また、国への申請時期はいつ頃を目指しているのか

7 本市財政の見通し等について

(1) 主要2基金の残高が著しく減少しているが、市政運営及び事業展開への影響はあるのか、また、早急に復元するための方策はあるのか

(2) 市債発行額及び市債残高の今後の見込みをどのように認識しているのか

(3) 歳出抑制に努め、歳入規模に見合った歳出構造をどのように構築していくのか

8 平和祈念式典について

- (1) 土崎空襲を題材とした「交響組曲「秋田」はまなすの章」の演奏会を戦没者追悼式・平和祈念式典の一環として行ってはどうか

9 生きる力を育み、生きる力を思いやる、秋田市に

- (1) 1 か月児健診・5 歳児健診の実施、仁井田児童館・大住児童館の改築及び雄和地区の新保育所の整備について、具体的な計画はどうか
- (2) 秋田市役所職員労働組合の要望事項である賃金・労働条件の改善等について、どのように取り組んでいくのか
- (3) 市民と約束する42の施策の実現に向けた、市長の意気込みと決意はどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 4期16年の市政運営において、市民福祉の向上と市勢発展のためのリーダーシップをどのように発揮してきたのか
- (2) 第14次秋田市総合計画の最終年度を迎えるに当たり、これまでの成果と課題をどのように総括し、今後の市政運営にどのように反映させていくのか
- (3) 秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅴの結果から見える市民ニーズをどのように捉え、新たな施策展開にどのようにつなげていくのか

2 令和6年度包括外部監査の結果報告への対応について

- (1) 監査意見として、階層別の成果指標（K P I）の論理的整合性が指摘されているが、どのように受け止め、今後どのように対応していくのか

3 新年度当初予算案及び財政運営について

- (1) 持続可能な財政基盤の確立を図るため、どのような考えのもとで予算配分をしたのか
- (2) どのような考えをもって骨格予算としたのか
- (3) 地方創生2.0における新たな交付金の活用方針と、全庁的な推進体制をどのように構築していくのか
- (4) 財政ガバナンス強化の観点において、事業の取捨選択の基準をどのように設定しているのか

4 防災安全対策について

- (1) 秋田市地域防災計画の見直しを踏まえ、地域防災力の強化に向けどのように取り組んでいくのか
- (2) 自主防災組織、消防団、防災士との連携強化及び地区防災計画の策定支援をどのように進めていくのか

- (3) 非常食・災害食について、高齢者向けの備蓄の推進及び普及啓発をどのように図っていくのか

5 人口減少対策について

- (1) 女性や若者の定着促進に向けた具体的な施策をどのように展開していくのか

6 デジタル化の推進について

- (1) 国では、サイバー対応能力の向上は急を要する課題であるとして、関連法案の整備を検討しているが、本市においてはサイバーセキュリティ対策をどのように考えているのか
- (2) 民間におけるサイバーセキュリティ人材の育成及び技術向上のため、市内企業への支援を行ってはどうか
- (3) 庁内における生成AI活用の促進に向けたプロンプト整備など、具体的な取組をどのように展開していくのか

7 観光文化政策について

- (1) 観光振興におけるマスタープラン策定の検討状況はどうか
- (2) 芸術文化と歴史を生かした街の回遊性向上にどのように取り組んでいくのか

8 女性活躍・男女共同参画について

- (1) 女性活躍・男女共同参画の推進に向けて、女性版骨太の方針2024を踏まえた具体的な取組をどのように展開していくのか
- (2) 職場や地域における女性人材の育成並びに課題解決に向けて、具体的にどう取り組んでいくのか

9 福祉行政について

- (1) 第4次秋田市地域福祉計画における重点施策の成果と課題を踏まえ、今後の展開をどのように考えているのか

10 子ども施策について

- (1) 国の方針を踏まえた重点的な施策をどのように考えているのか
- (2) 子どもの権利条約の理念を踏まえ、子どもの意見表明権や参加の権利をどのように保障していくのか、また、子どもの権利侵害の予防と救済のための相談・支援体制をどのように構築していくのか
- (3) 学童保育や学校現場において、「小1の壁」にどのように対応していくのか
- (4) 県内自治体の動向を踏まえ、里親研修のための特別休暇の新設をどのように考えているのか

11 環境政策について

- (1) 本市の環境政策の基本目標を達成するためのロードマップや長期的な展望をどのように描いているのか
- (2) 一般廃棄物処理基本計画の見直しにおいて、家庭から排出される遺品整理に関する廃棄物への対応を検討すべきではないか

12 熊対策及び生物多様性について

- (1) 県の熊対策強化の方針を踏まえ、熊出没対策において県とどのように連携していくのか
- (2) A I 認識型の自動撮影カメラについて
 - ア 熊出没対策の一環として本市が導入したA I 認識型の自動撮影カメラの効果はどうか、また、増設に向けて取り組んではどうか
 - イ A I 認識型の自動撮影カメラの画像を利用した市民向け講座など、生物多様性保全の普及啓発に向けた具体的な施策を展開していく考えはないか
- (3) 近年の環境変化や外来種の影響など、生物多様性を取り巻く課題に対応するため、生物多様性保全をさらに強化する必要があると考えるが、具体的な施策や今後の計画についてはどうか

13 本市における再生可能エネルギー施策の展望について

- (1) 国の次期エネルギー基本計画の策定方針を受けて、本市は再生可能エネルギーのトップランナーとして今後どのように取り組んでいくのか
- (2) 本市が国で検討しているGX産業立地の有望地域となるためにも、再生可能エネルギー電力を供給する産業団地の整備を進めるべきではないか
- (3) 洋上風力発電など再生可能エネルギー関連産業への市内事業者の参入促進に向けた取組をどのように進めていくのか、また、同産業に従事する人材の育成と確保をどのように図っていくのか

14 教育行政について

- (1) 不登校児童生徒への早期対応という観点から、小・中学生を対象にした学びの多様化学校を設置する考えはないか
- (2) 秋田公立美術大学附属高等学院の定員に弾力性を持たせるべきと考えるかどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 穂積市政 4 期16年の取組を振り返り、市長自身はどのように総括しているのか、また、4 期目に市長公約として掲げた10項目47プランの取組の成果はどうか
- (2) 5 期目に向けて、今後の市政運営のビジョンをどのように描き、新たな公約として、どのような施策を盛り込むのか、また、重点的に取り組む事項は何か

2 令和 7 年度当初予算案について

- (1) 当初予算案の編成に当たっては、令和 6 年度決算をどのように見込み、どう反映させたのか
- (2) 令和 7 年度の歳入について、定額減税の終了等に伴う個人市民税の増加を見込んでいるが、具体としてどのように算定したのか
- (3) 本市の主要基金である財政調整基金について、どのような考えに基づき 8 億円を取り崩すこととしたのか、また、安定した財政運営を行うに当たり、取崩し後の基金残高について、どのように認識しているのか

3 災害対策等について

- (1) 災害時の被害を最小限に抑えるとともに、的確な救援と迅速な復興を進めるため、被災状況の早期把握が重要と考えるが、本市で導入しようとしている災害情報管理システムは、国の新総合防災情報システム（S O B O - W E B）のような情報集約・共有機能は備えているのか
- (2) 指定避難所への避難が困難な介護施設等の入所者について、本市が協定を締結している福祉避難所等と連携し、あらかじめ受入体制を整備しておくべきと考えるがどうか
- (3) 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練及び全国救急隊員シン

- ポジウムの成果を、今後の災害対応へどのように反映させていくのか
- (4) 救助工作車や救命ボートなどの救助用資機材の保有状況について、消防団に配備されているものを含め、十分と考えているのか、また、消防職員のうち、救助工作車等の運転に必要な大型自動車免許を保有している職員の割合はどうか

4 空き家対策について

- (1) 組織機構の改正によって空き家対策の相談窓口が明確となり、空き家相談の件数が増加してきたことによって、新たに見えてきた課題は何か
- (2) 管理不全空家等及び特定空家等の現状はどうか、また、今年度中に除却や活用などの対応を行った空き家の数はどうか
- (3) 空き家除却後の土地に対する固定資産税の増額分を減免する自治体もあるが、本市でも同様の減免制度を導入する考えはないか

5 農地を適正に管理する取組について

- (1) 耕作が放棄された農地の区分及び各区分の判定基準はどのように定められているのか、また、市内における各区分の面積をどのように把握しているのか
- (2) 耕作放棄地等が発生する要因をどのように捉えているのか
- (3) 耕作放棄地等の発生抑制及び解消に向けた、国、県の動向及び本市の取組状況はどうか

6 農業振興について

- (1) 本市における農地の賃借料水準の平均額は年々下落傾向にある一方、土地所有者が負担する固定資産税の評価額算定率は以前から変わっていない現状について、本市はどのように捉えているのか
- (2) 新規就農者においては、大型農業用機械導入費用に係る返済が大きな負担となっており、昨今の農業資材の高騰も相まって、離農する原因にもなっていることから、さらなる支援の拡充が必要と考えるがど

うか

7 まちづくりについて

(1) 中心市街地の活性化について

ア 中心市街地の空洞化が進んでいると考えるが、本市の認識はどうか、また、今後、どのようにして中心市街地のにぎわいを創出していくのか

イ 共有名義などの理由で利活用が進まない土地について、ディベロッパーや不動産業者等からの相談を受け付け、本市が主体的に調整を行うことで、利活用を促進すべきと考えるがどうか

(2) 港湾の振興について

ア 国、県において秋田港の港湾整備が進められている中、本市として、秋田港を核とした観光振興や産業振興などに、より積極的に取り組んでいくべきと考えるがどうか

8 G I G A スクール構想における 1 人 1 台端末の更新について

(1) 今後の更新台数の見込みはどうか、また、使用済み端末の再利用や再資源化を含めた処分の方針をどのように考えているのか、さらに、端末の処分に際しては、個人情報情報の漏えい等が懸念されるが、どう対策していくのか

9 認知症の行方不明者対策の強化について

(1) 行方不明者の発見に有効な G P S 端末の購入費補助や、衣服等に貼れる Q R コードが記載されたシールの普及など、認知症の行方不明者の命を守る取組を推進すべきと考えるがどうか